様式第12号(第14条関係)

　　年　　月　　日

　　福井県知事　様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 住所 | 郵便番号  電話番号 |
| 氏名 |  |

特別保護地区内木竹伐採許可申請書

　県指定　　　　　　鳥獣保護区特別保護地区内における木竹の伐採の許可を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条第8項の規定により、下記のとおり申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 行為の種類 | |  |
| 行為の目的 | |  |
| 行為の場所 | |  |
| 林況 | 付近の状況 |  |
| 林種および樹種 |  |
| 林令 |  |
| 森林面積 |  |
| 総蓄積(a) |  |
| 施行方法 | 伐採種別 |  |
| 伐採樹種 |  |
| 伐採面積(本数) |  |
| 平均樹令 |  |
| 平均胸高直径 |  |
| 伐採材積(b) |  |
| 伐採材積歩合(b／a) | ％ |
| 関連行為の概要 |  |
| 伐採跡地の取扱い |  |
| 行為の着手予定日 | | 年　　　　月　　　　日 |
| 行為の完了予定日 | | 年　　　　月　　　　日 |
| 備考 | |  |

注　1　この申請書には次に掲げる図面を添付すること。

　　　(1)　行為の場所を明らかにした縮尺5万分の1以上の地形図

　　　(2)　行為の場所およびその付近の状況を明らかにした縮尺5千分の1以上の概況図および天然色写真(近景および遠景の写真ならびに行為の場所との関係を明らかにした撮影位置図)

　　　(3)　行為の実施の方法を明らかにするために必要な図面

　　2　法人にあっては、住所欄には主たる事務所の所在地を、氏名欄には主たる事務所の名称および代表者の氏名をそれぞれ記入すること。

　　3　申請文の「県指定　　　　　　鳥獣保護区特別保護地区」の箇所には、当該県指定鳥獣保護区特別保護地区の名称を記入すること。

　　4　行為の種類欄には、「立木の伐採」、「竹の伐採」等、具体的に記入すること。

　　5　行為の目的欄には、当該箇所でその行為をする理由を記入すること。

　　6　行為の場所欄には、市郡、町村、大字、小字、地番、地先、国有林にあっては林小班名等を記入すること。

　　7　付近の状況欄には、地形、植生、鳥獣の生息状況等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　8　林種および樹種欄には、「針葉樹林」、「広葉樹林」、「混交林」の別および「天然林」、「人工林」の別ならびに主な樹種を記入すること。

　　9　伐採種別欄には、「皆伐」、「単木択伐」、「群状択伐」等の別を記入すること。

　　10　関連行為の概要欄には、「索道の設置」、「林道の設置」、「貯木場の設置」等申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　11　伐採跡地の取扱い欄には、伐採後の植栽計画(年次、樹種、施行方法等)を記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　12　備考欄には次に掲げる事項を記入すること。

　　　(1)　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分または届出を必要とするものであるときは、その手続の進捗状況

　　　(2)　土地の所有関係(申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否またはその見込み)

　　　(3)　過去に鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の許可を受けたものにあっては、その旨ならびに許可処分の日付、番号および付された条件

　　13　森林施業以外の目的で申請する場合には、「林況」については「付近の状況」欄のみ、「施行方法」については「伐採樹種」「伐採面積」「関連行為の概要」欄のみ記入すること。

備考　用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。